

12月は「ねんきん月間」です

社会保険庁では、国民の皆さん一人ひとりが年金を身近で大切なものとして考え、公的年金制度の意義や役割を正しく認識していただくとともに、年金制度に対するご理解と信頼をいただけるように、年金加入記録の提供や年金相談などのサービスの充実を図っているところです。

そこで、12月を「ねんきん月間」として、サービスの更なる充実に取り組んでまいります。

県内の各社会保険事務所では次の日程で休日・夜間の年金相談を実施しておりますので、平日は忙しくてなかなか相談に来られないという方はぜひ、この機会をご利用ください。

- 毎週月曜日は、県内の全社会保険事務所において、受付時間を午後7時まで延長します。
- 第2土曜日は、県内の全社会保険事務所において、年金相談窓口を開設します。
※午前9時30分～午後4時
- 12月10日(日)は、大曲社会保険事務所において年金相談窓口を開設します。
※午前9時30分～午後4時

年金相談センターにおいては、休日・夜間の年金相談を実施しておりませんので、ご注意ください。

問い合わせ 大曲社会保険事務所 ☎0187-63-2294、2295、2299(年金相談コーナー)
役場(千畑庁舎)住民生活課 戸籍年金班 ☎0187-84-4903(内線2146)

介護保険事務所 からのお知らせ

問い合わせ 介護保険事務所 認定審査班 ☎0187-86-3912
役場(千畑庁舎) 福祉保健課 ☎0187-84-4907(内線2167)

要介護認定から介護保険のサービス利用まで

要介護認定の申請をして、「経過介護」(旧要支援)、「要介護1～5」のいずれかの認定を受けた方は介護保険のサービスを利用できます。 ※認定の目安は表1を参照

○「施設サービス」を利用したい場合

・入所を希望する方は直接施設に申し込むことになります。 ※「経過介護」の方はご利用できません。

○「在宅サービス」を利用したい場合

- ①「居宅介護支援事業所」へ連絡して、ケアプラン(居宅サービス計画)作成を依頼します。
※「居宅介護支援事業所」は介護保険事務所ホームページ(URL <http://www.oskaigonet.or.jp/>)または役場窓口・介護保険事務所にある一覧表でご確認ください。
- ②担当のケアマネジャーにケアプランを作成してもらいます。適切な介護サービスを利用できるように相談しましょう。 ※サービス提供事業所との連絡・調整はケアマネジャーが行います。
- ③ケアプランにそって「在宅サービス」が始まります。

表1 要介護度と心身の状態(例)

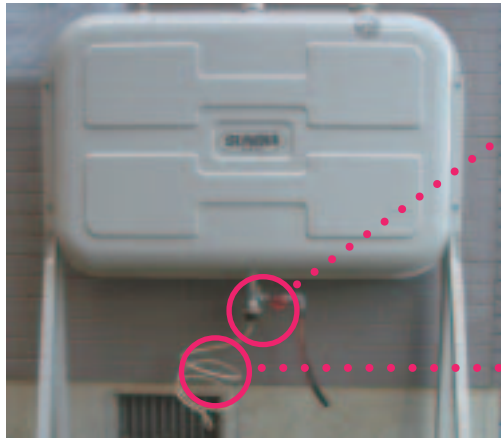
経過介護	「起き上がり」「立ち上がり」「片足立位」がつかまらなるとできない。「薬の内服」や「電話の利用」などに介助を要する状態。
要介護1	「金銭の管理」「歩行」「洗身」「つめ切り」などに介助を要する状態。
要介護2	「歩行」「洗身」「衣服の着脱」などに介助を要する状態。
要介護3	「衣服の着脱」「排せつ」「移乗」「洗顔」「整髪」などに介助を要する状態。
要介護4	「排せつ」「移乗」に加えて「食事摂取」にも介助を要する状態。
要介護5	「排せつ」「移乗」「食事摂取」などに「全介助」を要する状態。「指示への反応」や「記憶・理解」もできない状態。

※ここに示した状態は厚生労働省の資料をまとめたものです。認定を受けた方の状態と完全には一致しないこともありますのでご注意ください。

～家庭用ホームタンクを取り扱う皆さんへ～

雪が降る前に配管の確認！！ うっかり閉め忘れ要注意！！

- ・平成17年度は油流出事故が頻繁に発生し、平成16年度の2倍となる60件の油流出事故が起きました。その原因は、ホームタンクの閉め忘れと積雪による配管の損傷が上位でした。皆さんのご協力があれば未然に油の流出は防げますのでご協力をお願いします。
- ・事故を起こすと油の回収・処理に灯油18リットルの場合、約50万円の費用がかかってしまいます。そしてその費用は事故を起こした原因者が責任を持って負担しなければなりません。
- ・事故を起こした場合また発見した場合は、お近くの消防署、警察署、市町村役場、県や国の機関へご連絡ください。



閉め忘れ
要注意



配管の
確認

(例) 家庭用ホームタンク

問い合わせ

雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会 上流事務局 (国土交通省湯沢河川国道事務所 河川管理課) ☎0183-73-5340
役場(千畑庁舎)住民生活課 環境安全班 ☎0187-84-4903

お
た
よ
り

ふるさと会の皆様へ

中村 亥一(大坂)

真昼岳から延びる奥羽連山の稜線は既にセピア色に変わり、山の中腹から色鮮やかな紅葉が一気に麓に下り、秋の深まりを色濃くさせる季節になりました。

私も故郷に帰って三年目の厳しい冬を迎えようとしております。今年の稲作は前半の雨の多い季節から後半がらっと変わって暑い晴天に恵まれて、予想以上の収穫であったと聞いております。とは言いながらも農政は厳しく、「改革には痛みが伴う」と言う言葉は流行語にもなったが、農家そのものが自力で生きていく模索をする時代に入った気がします。景気が良いのか悪いのか私のような年金暮らしの者にはわかりませんが、税金は増額、年金は減額と決して年寄りには満足のいくものではありません。

季節の移り変わりの美しさだけは忠実に訪れて来てくれ、腹立たしいことも、寂しい気持ちも癒してくれるのは有り難いことと思っております。

真昼岳に初冠雪が見られるのも間近です。今年も残り少なくなりました。風邪を引かないように気をつけて、良いお年を迎えてください。冬の故郷もいいですよ。どうぞ来てたんせ。